

広報

こだま

2015

Vol.20

【栗田病院 広報誌】

広報散歩 認知症専用デイサービス

フォーカス くりた人

薬剤部 平松庸平

入社式

新入職員挨拶



有朋会・理念 ～私達の求める姿～

私たちの使命は、患者様、利用者様、ご家族様、地域連携機関、地域住民、有朋会職員と
いったあらゆる方々の「こころ」に、温かな（ホットな）灯りをともすこと、笑顔を増やし続ける
ことです。その使命を果たすことで、以下3つの姿を実現します。

1. 医療・介護・福祉を統合した高品質のサービスを設計・開発し提供し続けている。
2. スタッフみなが有朋会の一員であることに胸を張っており、患者様、利用者様、ご家族様に
質の高いサービスを提供している。
3. 働きたい・学びたいと希望する方が絶えることなく集まってくる。



医療法人社団 有朋会

栗田病院

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505

TEL: 029-298-0175 Mail: yuhokai@yuhokai-kuritah.com

<http://www.yuhokai-kuritah.com/>

広報散歩

「認知症専用デイサービス」

今回は、那珂市、水戸市、ひたちなか市の3市町村で計4事業所を展開している認知症専用デイサービスについてお話を伺いました。

認知症専用デイサービスとは

どういったものか教えてください。

日中に事業所で7時間程度過ごしていただく、通いのサービスです。介護保険対応のサービスで、定員が12名と定められています。デイサービスの職員が送迎を行います。サービスの内容としては、認知症の進行防止や進行を緩やかにする目的で行う認知機能リハビリテーションや、身体機能訓練、入浴サービス、気分転換をかねてのレクリエーション等があります。

認知症専用デイサービスは介護保険制度の中でも地域密着型サービスという種類に位置付けられています。那珂市に住民でいる方であれば那珂市の事業所を、水戸市に住んでいる方であれば水戸市の事業所を利用するというルールがあります。これは「住み慣れた地域で生活し続けられるように」という地域密着型サービスの理念に基づいてのルールです。

有朋会のデイサービスとしての特色はありますか。

私たちが地域の皆様から選ばれている理由は大きく3つであると考えています。それらがそのまま有朋会のデイサービスの特徴と言えます。

1つ目は、「多様な認知症症状への対応力」です。これは、12名という少人数に対して、職員の配置を多し個別対応を可能にしていることに加え、これまでの約10年間、認知症専用デイサービスの運営実績からのノウハウの蓄積、さらには母体である栗田病院



認知症デイサービス事業所の紹介

「クリクリ瓜連」那珂市中里
TEL029(270)9550
「クリクリ市毛」ひたちなか市市毛上坪
TEL029(275)0262
「クリクリ住吉」水戸市住吉町
TEL029(248)1001
「クリクリ青柳」水戸市青柳町
TEL029(231)7066



院における精神科との治療支援連携や教育・研修のバックアップのもとに成り立っています。それでも非常に対応の難しい方がいらつしやるのも事実ですが、「認知症の周辺症状だけを理由に利用のお断りしない。」というスタンスで運営しています。

2つ目は、「通所・介護拒否への粘り強い関わり」です。通所拒否や介護拒否があるとお断りされる場合があると聞いたことがあります。私たちのデイサービスでは認知症専用とうたっている以上、その部分も含めて関わる必要があると考えています。誰でも新しい場所や初めての人には多かれ少なかれ不安を感じるものです。認知症の方には特に不安を強く感じやすいという傾向があります。私たちは、様々

な拒否の背景にはそういった不安があると考え、関わる様にしています。通所拒否のある方であれば、まずは顔なじみに関係を作ることから始めます。そのためにも何度もお宅を訪問し、少しずつ私たちが信頼していただけるように関わりを続けます。繰り返し関わっているうちに、通所を嫌がっていた方でも、お迎えにうかがうと楽しみに玄関で待たれているという場合もたくさんありますよ。

3つ目は、「ご家族様へのサポートも大切にする。」です。利用者様を一番近くで支えているのはご家族様です。私たちはご家族様とのコミュニケーションも大切にしています。送迎の時もただ玄関先にかがうというだけではなく、昨夜のご様子をお伝えしたり、その日のデイサービスでのご様子をお伝えしたり、時にはどのように対応したらよいのかご家族から相談を受けることもあります。直接お会いできない場合でも、連絡ノートを通じての情報交換を行います。また、これは病院部門と協力して行っていることです。認知症家族教室を開催しています。精神科医による認知症についての講義や、ご家族同士のグループワークなどを行っています。特にグループワークでは、「今まで話せなかった悩みを話すことができてよかった。」「共感できることがたくさんあって、参加して気持ちが楽になった。」等、ご好評をいただき、ご家族様の負担感の軽減などのサポートに貢献できていると考えています。

最後に今後の意気込みを教えてください。

私たちが有朋会に対して、認知症医療・介護の面から地域の皆様のご期待の声を耳にすることが増えてきていると感じています。もちろん、今後も今まで以上にそういったご期待に応えられるようにサービスの向上に努めていきたいと思います。

今後、厚労省が進める地域包括ケアシステムの構築に伴い、在宅支援のための地域資源の重要性はますます

有朋会 介護事業部理念

私たちは、ご利用者様が住み慣れた地域の中で安心して暮らしていただくために、小規模で家庭的なご利用者様のペースに合わせた個別ケアを目指します。

私たちは、ご利用者様の人権や人格を尊重し、信頼される介護サービスのご提供に努めます。

デイサービス部門 ケア方針

○どんな方でも、認知症の症状が重い方でも断らずに受け入れる。途中でご自宅へ帰す事もしない。

○来所拒否があっても、様子を見て、何度かアプローチをする。ご本人様の不安を軽減させ、通所できるように支援する。

○ご本人様、ご家族様の行動時間に合わせた送迎や、サービスの提供を行う。

○認知症についての心理教育や家族会、コミュニケーションなどを通して、ご家族様の不安やストレスの軽減のサポートも行う。

私たちが目指すもの

私たちが目指すのは、集団的で画一的なケアサービスではなく、ご利用者様一人ひとりを尊重した個性のあるケアサービスです。

認知症の方が健康な時と同じような気持ちで日常を過ごされ、大切な人生を、その人らしく過ごしていただくことを目指しています。

認知症の患者様が生き生きと元気に過ごすため、そして、ご家族の方々のご心配が少しでも軽くなるため、お手伝いさせていただくことが、私たちの使命です。

フォーカス くりた人



薬剤部 平松庸平

当院で働く、現場職員の声をお伝えします。

病院・部署での役割や活動

私は薬剤師として栗田病院の薬剤部に勤務しています。今年で2年目になります。

薬剤部での業務は、入院患者様への調剤や退院時の薬剤管理指導、医薬品の供給・管理などがあります。最近では急性期病棟で導入されたクリニカルパスにより、入院以前の服薬状況の聞き取り、持参薬の確認、入院後の服薬指導を行っています。より患者様に近い環境での業務が増えてきています。

入院中の患者様を対象として薬に対する疑問や副作用などをヒアリングし、医師と連携して治療方針や薬物療法に役立てる事も薬剤師の大事な仕事です。医薬品の供給・管理は、医薬品の発注を任されており、大変責任を感じる業務の一つです。

委員会にも参加しており昨年度より薬剤管理委員会、今年度よりNST褥瘡対策委員会、とつぷくりん委員会に参加しています。

薬剤管理委員会では、現在採用している薬剤の変更や新しい薬剤導入の検討を行っています。この委員会は医師や看護師、医事課が参加しており、それぞれの立場から薬剤の変更や導入について協議しているので薬剤師としての腕の見せ所でもあります。

聞きなれない名前かと思いますが、とつぷくりん委員会では職員同士のコミュニケーションを活性化させる事を目的としてBBQや運動会などの職員交流イベントを企画しています。

業務で意識している事

当然の事かもしれませんが調剤でのミスを起こさないように意識しています。調剤は毎日繰り返し行われますが、ただルーチンワークをこなすだけではありません。些細なミスから思わぬアクシデントに繋がる事もあるので、気を抜かないようにしています。そしてなにより患者様とのコミュニケーションを大切にしています。患者様の中には医師や看護師に話しづらい事を私たち薬剤師には話してくれる方もいます。入院中はいろいろな事に敏感になってしまいう患者様も多いので、適度な距離感でバランスをとりながらコミュニケーションをとる事を心掛けています。

栗田病院でのやりがい

精神科の患者様の症状は奥が深いです。薬の副作用で患者様の状態が大きく変わる事もあるので、そういった面を見て様々なケースを学ぶ事ができるのが精神科病院の魅力だと思います。

薬剤管理指導では、患者様から多くの言葉をいただきます。以前担当させていた患者様から「薬剤師さんの話を聞くまでなぜ薬を飲まなくてはならないのかわからなかった。」「今までこんなに教えてもらったことはないよ。」と言われた事がありました。私は今でもその言葉が印象に残っています。薬を飲む事の大切さを理解していただき、薬に対する不安を少しでも取り除く事が私たちの大きな使命なのかもしれません。そういったところに薬剤師としてのやりがいを感じています。

精神科の薬剤師を目指したキッカケ

正直感動するエピソードは持っていません(笑)。自分にできる事はなにか探していた時に兄が薬剤師だった事もあり自然と目指すようになりました。

総合病院や調剤薬局、ドラッグストアなど数多くある就職先の中で精神科病院を選んだキッカケは実習での体験が大きかったと思います。実習はこちら

新入職員から一言

「栗田病院の魅力と私の抱負」

○看護師 佐藤司

私が現在感じている栗田病院の魅力は、雰囲気の良い事です。栗田病院では「H O Tカード」という企画により職員同士が「ありがとう」を伝えられる環境があり、職員の成長やモチベーションの向上に繋がっていると感じました。

また、栗田病院は「失敗は宝」と掲げています。誰しも失敗という言葉にはマイナスなイメージを持つと思いますが、しかし、こういったプラスの考えを職員全体に伝えている為、職員一人ひとりが失敗を振り返る機会を持ち成長できる環境であると感じました。

そして、社会人として看護師として立派な人間になれるよう日々精進していきたいです。



看護師 佐藤司

○精神保健福祉士 菅野絢華

私は、精神保健福祉士として有朋会に入社しました。支援をさせていただく上で、チーム医療は欠かせません。有朋会では治療共同体という考え方のもと、患者様・利用者様をチーム医療の一員として捉えています。患者様・利用者様・ご家族様と私たちスタッフが同じ方向性を持って目標に取り組むことが大切だと思います。

でお世話になっていたのですが、初めは精神科に抵抗があったというのが本音でした。しかし、精神疾患を抱える患者様は非常に純粋で優しい方が多く、実習を続けていく中でそのイメージはどんどん変わっていき、患者様のところに寄り添える精神科薬剤師に非常に興味を持つていきました。

薬剤師2年目とこれからの自分

一番の大きな変化は業務の幅や質が広がった事だと思います。初めは病院の体制に慣れる事、先輩から学ぶ事で精一杯でしたが、少しずつではあります。が病棟や病院全体を見る事ができるようになったと実感しています。

調剤に関しても、ただただミスがないように注意するだけではなく、「この薬を服用している患者様へはこういったアプローチができるのではないかな」など、別の視点で捉える事が出来るようになってきました。例えば、血液検査の結果から血中濃度をチェックしたり、高齢の患者様に対しては腎機能や肝機能を見ながら薬の量を考えたり、ケースや患者様の状態によって新たな発見が見えてきます。そういった点を医師と連携し協力する事で、薬剤師の業務の幅はさらに広がっていくと思います。



当院の先輩薬剤師は二人とも非常に優秀で、精神科専門薬剤師の認定を受け学会等での研究発表も多くこなすスペシャリストです。日々高いレベルで学べる環境は本当にありがたいです。今後はそんな二人のよいところを盗んだハイブリットな薬剤師、そして「平松さんが言うなら」と、言ってもらえるような発言力のある力強い薬剤師を目指していきたいです。

※とつぷくりん委員会：名前の由来は茨城弁の「とんぷくりん」と「突飛」から作られた有朋会独自の造語。

そして、よいサービスを提供させていただくには、職員間のコミュニケーションが大切です。特に私の職種は、様々な方々と接する機会が多くあります。そのためコミュニケーションを大切にしている点はとても魅力的だと感じました。

未熟な私ではありますが、精進して参りますのでよろしく願っています。



精神保健福祉士 菅野絢華

○事務 川又勇太

栗田病院の魅力は、同じ部署はもちろん他部署ともしっかり連携できていることだと感じています。入社後挨拶回りをさせていただいた際に、案内してくださった先輩職員の方と他部署の方との言葉の掛け合いに温かさがあり、自然と笑顔になれていた印象を受けたからです。チーム医療を実践する上で、多職種とのコミュニケーションを図る事はとても大切です。他部署の方と良好な関係を築く事の大切さを改めて学ぶことができました。

4月1日より栗田病院の一員となり、まだ右も左もわかりませんが、これから先輩方の指導を賜りながら少しでも栗田病院に貢献できるよう、精一杯努めていきたいです。



事務 川又勇太



平成27年4月1日新入職員入社式典が行われました。今年度は合計16名の職員を新たに迎えました。皆さん緊張した面持ちでしたが、辞令交付や新入職員代表挨拶などが行われ、入社への実感をかみしめていた様子でした。皆さんの今後の飛躍に期待したいです。

入社式

診療案内

外来担当医一覧表

受付時間 午前 8:00 ~ 11:30 / 午後 11:31 ~ 15:00
診察時間 午前 9:00 開始 / 午後 13:30 開始

	診察室	月	火	水	木	金	土
午 前	1 診	安部	片野	安部	栗田	鈴木	水挽
	2 診	堤	高橋	堤	田口	堀	第3,5週 吉川 第2週 鈴木
	3 診		袖山	木滝	木滝	太刀川	高橋
	5 診					井出	田口
午 後	1 診	栗田					休診
	2 診		高山			第2,4週 安谷屋	
	3 診		佐藤	竹下		渡辺	
	6 診					井出	

初めての外来受診・入院を希望される方へ

1. 電話で患者様の情報や現在の状況をご相談下さい。
2. 次にケースワーカー（相談員）が詳しい話を伺い、その後ご予約をお取りします。

※現在他病院を受診している、もしくは受診していた場合は紹介状が必要になります。

※当日の状況により、予約内容が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

*精神科外来は完全予約制になります。

*当日のご予約は行っておりません。前日までにご予約をお願い致します。

予約電話対応時間 月～土（祝日を除く）9:00～17:00 TEL.029-298-0175

■=内科

関連施設

地域生活支援事業部

障害福祉サービス事業所 自立訓練(生活訓練) ショートステイ

「くりの実」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505 TEL&FAX.029-295-1834

障害福祉サービス事業所 グループホームくりの木

「第一くりの木」「第二くりの木」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7652

「くりくり」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7680 FAX.029-295-7681

「くりあん」 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3429-2 TEL.029-231-2280 FAX.029-231-2281

認知症デイサービス

「クリクリ瓜連」 〒319-2103 茨城県那珂市中里1365-7 TEL.029-270-9550 FAX.029-270-9558

「クリクリ住吉」 〒310-0844 茨城県水戸市住吉町20-6 TEL.029-248-1001 FAX.029-248-0215

「クリクリ市毛」 〒312-0033 茨城県ひたちなか市市毛上坪1186-2 TEL.029-275-0262 FAX.029-275-0263

「クリクリ青柳」 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3923-5 TEL.029-231-7066 FAX.029-231-7067

小規模多機能型居宅介護施設・認知症グループホーム

小規模多機能ホーム「クリクリ」・認知症グループホーム「クリクリ」

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰140-17 TEL.029-352-0016 FAX.029-298-7750

認知症疾患事業部

アクセスマップ

